

平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート  
コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久  
問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 中野広之  
四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0422-53-0257

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	4,072	19.7	236	12.1	297	44.2	168	4.7
26年5月期第2四半期	3,403	15.4	210	—	206	—	161	—

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 151百万円 (106.6%) 26年5月期第2四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	35.89	35.51
26年5月期第2四半期	33.60	33.05

(注) 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	8,236	4,606	55.7
26年5月期	7,766	4,389	56.3

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 4,584百万円 26年5月期 4,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,208	17.5	459	△29.3	479	△24.5	321	△30.2	67.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	5,055,400 株	26年5月期	4,965,400 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	320,400 株	26年5月期	320,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	4,708,108 株	26年5月期2Q	4,802,718 株

(注)1 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。

上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

2 当社は、前期より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております。J-ESOP信託口が所有する当社株式200,000株は、自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により発行済株式数が90,000株増加しております。業績予想における1株当たり当期純利益は、当該増加株式数を反映して算出しております。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後、個人消費は伸び悩んでおります。また、内閣府の7～9月GDP速報値で2四半期連続マイナス成長となり、国内景気の下押しリスクが強まるなか、日銀による金融の異次元緩和策により、株高や円安が進み輸出企業の採算は好転し、景気回復やデフレ脱却に向け施策されております。一方、米国では個人消費や雇用の改善が見られるものの、欧州や新興国の経済成長率の鈍化等、先行きに懸念材料を残す状況にあります。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスで課金を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,072,664千円(前年同期比19.7%増)、経常利益は297,328千円(前年同期比44.2%増)、四半期純利益は168,992千円(前年同期比4.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用作品「GARM WARS The Last Druid」「進撃の巨人 総集編前編」、テレビ用アニメーション「白銀の意思 アルジェヴォルン」「フューチャーカード バディファイト」「ハイキュー!!」「アオハライド」「東京ESP」等、ビデオ用アニメーション「進撃の巨人」「翠星のガルガンティア」、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は2,833,734千円(前年同期比40.9%増)、セグメント損失は41,103千円(前年同期は139,649千円のセグメント利益)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックガーデン」等、コミックス「魔法使いの嫁 2巻」「煉獄に笑う 2巻」「PSYCHO-PASSサイコパス監視官咬嚙慎也 1巻」等、定期月刊誌7点並びに新刊コミックス65点を刊行しました。

平成26年10月より日本テレビ他で放送されているテレビアニメーション「曇天に笑う」の既刊コミックス(全6巻、外伝)は累計100万部を超え、また「魔法使いの嫁」は平成26年4月に1巻発売以来、9月に発売された2巻と合わせて累計70万部を超えるヒット作となっております。

以上により、当事業の売上高は720,775千円(前年同期比36.9%増)、セグメント利益は122,249千円(前年同期は36,628千円のセグメント損失)となりました。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「進撃の巨人」「黒子のバスケ シリーズ」「攻殻機動隊ARISE 及び SAC シリーズ」「テニスの王子様 シリーズ」「宇宙戦艦ヤマト2199」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は383,473千円(前年同期比47.2%減)、セグメント利益は207,454千円(前年同期比42.6%増)となりました。

#### ④ その他事業

その他事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、ゲームやiPhone/iPod Touch向けアプリ等により、当事業の売上高は134,679千円(前年同期比3.6%減)、セグメント損失は9,133千円(前年同期は10,114千円のセグメント利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ469,134千円増加して8,236,051千円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が272,091千円、映像マスターが147,131千円増加し、一方、現金及び預金が48,996千円、投資有価証券が44,110千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ251,954千円増加して3,629,291千円となりました。主な要因は買掛金が307,588千円増加し、一方、未払法人税等が141,539千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ217,180千円増加して4,606,760千円となりました。主な要因は四半期純利益の計上等により利益剰余金が144,767千円、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ45,000千円増加し、一方、為替換算調整勘定が26,210千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ48,996千円減少し、2,368,030千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、96,982千円(前年同期は261,617千円の増加)となりました。これは主に仕入債務の増加が307,575千円、減価償却費が118,978千円となり、一方、売上債権の増加が271,951千円、法人税等の支払が238,685千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、192,132千円(前年同期は69,220千円の減少)となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入が50,000千円、保険積立金の解約による収入が20,415千円、一方、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が217,251千円、出資金の払込による支出が45,550千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、45,624千円(前年同期は46,873千円の増加)となりました。これは主に株式の発行による収入が90,000千円となり、一方、配当金の支払額が21,412千円、長期借入金の返済による支出が19,998千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想につきましては、平成26年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、次のような連結範囲の変更があります。

① 連結範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、009 RE:CYBORG 製作委員会は重要性が乏しくなったため、連結の範囲から除外しております。また、当第2四半期連結会計期間より、平成26年10月1日付で設立しました株式会社シグナル・エムディを連結の範囲に含めております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、関連会社であるハル製作委員会1社は、四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,427,134	2,378,137
受取手形及び売掛金	1,090,639	1,362,730
商品及び製品	113,339	163,069
仕掛品	1,483,989	1,523,246
貯蔵品	7,964	8,685
前渡金	21,589	42,486
繰延税金資産	99,708	102,027
その他	107,313	129,887
貸倒引当金	△26,552	△26,540
流動資産合計	5,325,126	5,683,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	707,106	694,680
土地	829,579	829,579
映像マスター(純額)	430,064	577,196
その他(純額)	48,035	48,371
有形固定資産合計	2,014,786	2,149,827
無形固定資産		
のれん	60,578	51,924
その他	13,406	12,400
無形固定資産合計	73,984	64,324
投資その他の資産		
投資有価証券	156,106	111,996
その他	234,124	263,245
貸倒引当金	△37,210	△37,071
投資その他の資産合計	353,019	338,169
固定資産合計	2,441,790	2,552,321
資産合計	7,766,917	8,236,051

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	616,784	924,372
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	204,946	236,881
未払法人税等	219,372	77,833
前受金	1,331,350	1,341,723
賞与引当金	—	3,495
役員賞与引当金	10,564	2,088
返品調整引当金	61,663	59,763
受注損失引当金	33,809	43,690
その他	318,062	357,445
流動負債合計	3,136,549	3,387,289
固定負債		
長期借入金	179,188	159,190
退職給付に係る負債	37,507	37,175
その他	24,092	45,637
固定負債合計	240,787	242,002
負債合計	3,377,336	3,629,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	736,500	781,500
資本剰余金	1,877,669	1,922,669
利益剰余金	2,188,835	2,333,603
自己株式	△420,870	△420,870
株主資本合計	4,382,134	4,616,902
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,437	△32,648
その他の包括利益累計額合計	△6,437	△32,648
少数株主持分	13,883	22,506
純資産合計	4,389,580	4,606,760
負債純資産合計	7,766,917	8,236,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,403,799	4,072,664
売上原価	2,820,075	3,411,449
売上総利益	583,723	661,214
返品調整引当金繰入額	5,463	—
返品調整引当金戻入額	—	1,900
差引売上総利益	578,260	663,114
販売費及び一般管理費	367,288	426,579
営業利益	210,971	236,534
営業外収益		
受取利息	223	1,433
為替差益	—	36,580
デリバティブ評価益	—	4,730
投資有価証券償還益	—	1,160
受取賃貸料	16,451	24,579
その他	2,762	7,683
営業外収益合計	19,438	76,167
営業外費用		
支払利息	2,616	2,187
為替差損	1,952	—
投資有価証券評価損	5,720	—
賃貸収入原価	11,942	12,329
その他	1,923	855
営業外費用合計	24,155	15,373
経常利益	206,253	297,328
特別損失		
減損損失	7,385	—
特別損失合計	7,385	—
税金等調整前四半期純利益	198,868	297,328
法人税、住民税及び事業税	117,438	97,190
法人税等調整額	1,060	22,523
法人税等合計	118,499	119,713
少数株主損益調整前四半期純利益	80,369	177,615
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△81,010	8,622
四半期純利益	161,379	168,992



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80,369	177,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	—
為替換算調整勘定	△6,835	△26,210
その他の包括利益合計	△7,096	△26,210
四半期包括利益	73,272	151,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154,283	142,782
少数株主に係る四半期包括利益	△81,010	8,622

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	198,868	297,328
減価償却費	407,954	118,978
長期前払費用償却額	721	1,112
減損損失	7,385	—
のれん償却額	13,349	8,654
貸倒引当金の増減額(△は減少)	177	△151
返品調整引当金の増減額(△は減少)	5,463	△1,900
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△27,734	9,880
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	3,495
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△8,476
退職給付引当金の増減額(△は減少)	219	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△332
受取利息及び受取配当金	△247	△1,433
為替差損益(△は益)	△1,716	△36,983
支払利息	2,616	2,187
投資有価証券評価損益(△は益)	5,720	—
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△4,730
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△1,160
売上債権の増減額(△は増加)	△59,080	△271,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	△210,732	△71,051
仕入債務の増減額(△は減少)	△180,015	307,575
未払金の増減額(△は減少)	△92,632	5,744
前受金の増減額(△は減少)	35,772	△5,406
前渡金の増減額(△は増加)	100,331	△13,911
未収消費税等の増減額(△は増加)	4,842	9,455
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,016	△46,821
その他	35,721	36,283
小計	258,002	336,385
利息及び配当金の受取額	247	1,433
利息の支払額	△2,616	△2,150
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5,983	△238,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,617	96,982
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△65,790	△217,251
無形固定資産の取得による支出	△1,323	△956
投資有価証券の償還による収入	—	50,000
出資金の払込による支出	—	△45,550
出資金の回収による収入	1,130	14,479
保険積立金の積立による支出	△2,302	△2,255
保険積立金の解約による収入	—	20,415
その他	△934	△11,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,220	△192,132

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△19,998	△19,998
株式の発行による収入	51,000	90,000
配当金の支払額	△8,095	△21,412
少数株主への配当金の支払額	△2,923	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,109	△2,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,873	45,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,716	528
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	240,987	△48,996
現金及び現金同等物の期首残高	2,241,719	2,417,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,482,706	2,368,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,011,439	526,476	726,124	3,264,040	139,758	3,403,799
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,011,439	526,476	726,124	3,264,040	139,758	3,403,799
セグメント利益又はセグメント損失(△)	139,649	△36,628	145,463	248,484	10,114	258,598

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,484
「その他」の区分の利益	10,114
のれんの償却額	△13,349
全社費用(注)	△34,278
四半期連結損益計算書の営業利益	210,971

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,833,734	720,775	383,473	3,937,984	134,679	4,072,664
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,833,734	720,775	383,473	3,937,984	134,679	4,072,664
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△41,103	122,249	207,454	288,600	△9,133	279,466

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	288,600
「その他」の区分の利益	△9,133
のれんの償却額	△8,654
全社費用(注)	△34,277
四半期連結損益計算書の営業利益	236,534

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。